

IT経営革新・長官賞受賞記念・実践講座

2011年度

IT経営革新の71.2%は失敗に終わっている(IMD・日経コンピュータ調査平均)。なぜなのだろうか。この度、(社)中小企業診断協会シンポジウムにおいて成功率89.7%(現在は90.0%)を実現した「**中小企業IT経営革新阻害要因5つのギャップ解消のための提言**」を発表し、最優秀論文として中小企業庁長官賞を受賞した。講師が26年間に亘って培ってきたIT経営革新効果を確実に高める独自の「MiHCoSH手法」を学びます。ケーススタディ等を通じて実践的な方法を学ぶ講座です。

講座概要

テーマ: MiHCoSH(ミーコッシュ)手法によるIT経営革新の進め方
 ～MiHCoSHは講師独自のIT経営革新の統合問題解決手法で登録商標です～



講師: 小林 勇治

(株) マネジメントコンサルタンツグループ 代表取締役

(社) 中小企業診断協会 顧問

NPO法人ITコーディネータ協会 副会長

中小企業診断士, CTP (認定事業再生士), ITコーディネータ

第1日目		2012年3月17日(土) 10:00～17:00	
I	はじめに(本講座の目的) IT経営革新の 71.2% は失敗する	V	IT経営革新成功の前提条件 要素整備度とギャップ解消度
II	IT経営革新失敗要因の仮説 なぜIT経営革新は失敗するのか	VI	IT経営革新成功事例 なぜ MiHCoSH手法 は成功するのか
III	IT経営革新失敗・成功の仮説実査 失敗・成功の36企業の実査結果	VII	IT経営革新失敗事例 なぜ失敗するのか究明する
IV	IT経営革新失敗・成功の論理 MiHCoSH手法 で成功できる	VIII	今日のまとめとケースの予習 ケース仕様のプログラム演習

第2日目	2012年3月18日(日) 9:00～17:00
ケーススタディ (製造業, 建設業, 卸売業, ボランタリーチェーン本部, 小売業, 飲食業, サービス業)	
ケース・スタディは参加者の希望に沿って、1～2事例程度に絞る予定です。	

講義概要

<第1日目>

日時:2012年3月17日(土) 10:00~17:00

I はじめに(本講座の目的)
IT経営革新の成功率は28.8%で、**失敗率71.2%**である

98年米国IMDの調査によればIT経営革新の成功率は26%で失敗率は46%、破棄は28%で失敗と破棄を失敗とみなせば74%は失敗である。日本は03年日経コンピュータによれば成功率26.7%で失敗率は73.3%である。同じく08年では成功率は31.1%で失敗率は68.9%である。

II IT経営革新失敗要因の仮説
なぜIT経営革新は失敗するのか
要因の仮説を立てる

失敗の要因を**要素整備度**(マインドウェア、ヒューマンウェア、コミュニケーションウェア、ソフトウェア、ハードウェア)と**ギャップ解消度**(経営系とIT系間のギャップ、各プロセス間のギャップ、トップとローア間のギャップ、ユーザーとITベンダー・コンサルタント間のギャップ)によると仮説を立てた。

III IT経営革新失敗・
成功要因仮説実査
失敗・成功の要因を明らかにする

中小企業36社、業種は製造業・建設業・卸売業・小売業・サービス業等6業種、地域は、青森から沖縄まで8都県に渡って、要素整備度、ギャップ解消度、成功・失敗の評価基準(品質順守度、コスト順守度、納期順守度)を設計し、個別企業別について実査した結果を公表し、失敗要因を明らかにする。

IV IT経営革新成功の論理
MiHCoSH手法と**ギャップ解消度向上**によって成功できる

過去において、IT経営革新は既述したように71.2%は失敗に終わっている。しかし、この失敗の要因をここで示している切り口から明らかにした論文は本邦で初めてである。IT経営革新実査データの回帰分析をおこなった結果から、MiHCoSH要素整備度とギャップ解消度からその論理を明らかにする。

受講生の声

昨年度ご参加された皆様からお寄せいただいた声を一部ご紹介します。

- ・ミーコッシュ手法の全体像とおよび各論を体系的に学べ、非常に良かった。資料も頂いたので、今後の学びと実践に非常に役立つと思え、ありがたいです。
- ・理論と実践のバランスが丁度良いと感じました。
- ・To-Beモデルを書く重要性がわかった。
- ・各種Excelシートを実際に動かしてみる機会を得られたことで、Back-and-forthしながらケースを考え、実行性を考えることが出来た。今後活用する幅を広げられた。
- ・今まで「××すべきだ」「○○しましょう」と提言することしかできませんでした。具体的なアクションプランとして何をすべきか、それが売上げ・利益にどの程度インパクトを与えるのかを1通り理解できました。診断のPDCAに活用します。
- ・事例を元に提案内容についてディスカッションできた点良かったです。
- ・事例に取組み、経営者の方と直接接することで、たくさんの気付きを頂きました。
- ・(経営者の方のご努力を直接伺え)具体的な事例に基づき、真剣に検討させて頂ける、よい環境でした。

実際の案件を扱った
ケーススタディが好評!

経営者の方の生の声が
聞いて参考になった!

V 成功要因を理解する前提条件 IT構築プロセスと要素整備度・ギャップ 解消度の関係性の理解

IT経営革新プロセス(①経営戦略・IT戦略策定、②経営改革・IT企画、③情報資源調達、④システム開発・移行、⑤システム運用・保守)、要素整備度(①マインドウェア、②ヒューマンウェア、③コミュニケーションウェア、ソフトウェア、ハードウェア)、ギャップ解消度(①経営系とIT系のギャップ、②各プロセス間のギャップ、③トップとローア間のギャップ、④ユーザーとITベンダー・コンサルタント間のギャップ)の関係性理解。

VI IT経営革新成功事例 なぜMiHCoSH手法は成功率 90.0%を達成できるのか

①企業概要、②MiHCoSH要素整備度は実務ではどのように進めると失敗しないかを具体的に解説する。③ギャップ解消度は実務ではどのようにすれば失敗しないか、具体的に解説する。IT経営革新プロセスに沿って、この進め方をマスターすれば成功率は90%以上になる。

VII IT経営革新失敗事例 なぜ失敗するのか究明する

①企業概要、②要素整備度の評価、③ギャップ解消度の評価からなぜ失敗したのかを具体的に述べて、成功への手がかりを掴むことを目的としている。

VIII 今日のまとめと、2日目のケース スタディの予習・懇親会

2日目ケースに活用するソフトウェアプログラムの予行演習をおこないます。携帯パソコンとテンプレート(UCHIDA EDP定規S-7)をご用意ください。2日目はプロジェクターを使ってのケース研修になります。懇親会は事例企業社長を囲んでの懇親会です。時間外希望者のみで別途実費負担になります。

テキストのご紹介



- ◆ 講義テキスト
- ◆ 参考資料
- ◆ 第1日目 予習テキスト
- ◆ 第2日目 ケーススタディー問題集

<第2日目> 日時:2012年3月18日(日) 9:00~17:00

ケーススタディ ※ゲスト講師(予定):鳥取 孝(徳島 株式会社セルフ 代表取締役)

講師独自の「IT経営革新・企業再生MiHCoSH手法」により、

- | | |
|--------------------|----------------|
| ①IT経営革新プロジェクトの立ち上げ | ②IT経営革新戦略の策定 |
| ③IT経営革新企画 | ④IT経営革新資源調達 |
| ⑤IT経営革新システムの開発・導入 | ⑥IT経営革新の具体的運用 |
| ⑦データの有効活用手法 | ⑧IT経営革新・モニタリング |

を、ケース・スタディを取り入れながら、経営革新効果を上げる一貫した手法を学習します。

講座案内

募集要項

- 会場 早稲田大学日本橋キャンパス
- 定員 20名
(定員に達し次第、締め切らせて頂きます。)
- 受講料 50,000円 (税込み)※2日間セットでのご受講となります。
- 対象者 IT・企業再生効果を確実に上げる意欲のある者であれば、前提となる資格・スキルは問いません。

- その他 受講者にはMiHCoSH商標の使用に関する契約とミーコッシャー(補)の認定書が授与されます。

講義風景



【お申し込み方法】

当パンフレットに添付の「講座受講申込書」に必要事項をご記入の上、FAXでお送り下さい。

1 受講料のお支払い方法

- お申し込みの受付後、早稲田大学ビジネス情報アカデミー事務局より受付確認のメールをお送りいたします。確認メールまたは、別途送付する請求書に記載されたお支払い期限までに指定の口座に受講料をお振込み下さい。(振込手数料はご負担下さい。)
- 受講料には消費税が含まれます。
- お申し込み後、一営業日が過ぎても事務局からメール返信がない場合は、お手数ですが事務局までご連絡下さい。

2 受講票の送付

- 受講料の入金確認後、『受講票』をお送りいたします。(受講票は当日忘れずにお持ち下さい。)
- ご入金後、一週間が過ぎても受講票がお手元に届かない場合は、お手数ですが事務局までご連絡下さい。

3 受講申し込み上の注意

- 受講のお申し込み受付は先着順とし、定員に達した時点でお申し込み受付を締め切らせていただきます。
- 講座の応募状況により、受講定員を変更させていただく場合がございます。
- 受講生が一定人数に満たない場合、講座を中止することがございます。(中止決定は講座開始日の7日～10日前に行います。講座中止の際には受講料を全額ご返金いたします。また、講師の緊急の都合などによる場合も、中止、延期、時間短縮等させていただく場合がございますのでご了承下さい。)

【開講前のキャンセル取扱いについて】

- 講座開始日7日前以降のキャンセルに伴うご返金はいたしかねますので、予めご了承下さい。
- お申し込み受領後は、いかなる場合においても、受講料の振込のないことをもってキャンセルとはみなされません。キャンセルの際は、必ず事務局までご連絡下さい。

【個人情報の取扱いについて】

「資料請求」や「アンケート」の記入時、講座のお申し込み時等にお預かりした個人情報につきましては、受講案内やガイダンス等の開催案内に使用いたします。お客様の個人情報をお客様の同意なしに業務委託契約締結先以外の第三者に開示・提供することはございません(法令等により開示を求められた場合を除く)。お客様の個人情報は、早稲田大学ビジネス情報アカデミーにて管理させていただきます。



- アクセス 早稲田大学日本橋キャンパス
東京都中央区日本橋1-4-1 日本橋一丁目ビル
(COREDO日本橋 5階)
・東京メトロ東西線/銀座線「日本橋駅」B12、C1、C2出口直結
※お越しの際は、公共交通機関をご利用下さいようお願い申し上げます。

- お問合せ先: 早稲田大学ビジネス情報アカデミー事務局

〒103-0027 東京都中央区日本橋1-4-1 日本橋一丁目ビル5階
TEL:03-3272-6785 (受付時間:月～金 10:00～18:00、土・日・祝日休)
FAX:03-3272-6786 E-mail:WBA@list.waseda.jp
URL:<http://www.waseda.jp/wnfs/seminar/index.html>